



# きずな

## 4部リーグJブロック

4部リーグJブロックは、AGGRE U-12B、蹴道サッカークラブ U-12、札幌西サッカースポーツ少年団、手稲鉄北サッカースポーツ少年団、山の手サッカースポーツ少年団、札幌中央フットボールクラブ 勝、西岡サッカースポーツ少年団、厚別北サッカースポーツ少年団の8チームで戦いました。各チームとも6年生がチームを引っ張り、それぞれのチームの持ち味を発揮して、活気あるリーグ戦となりました。



優勝は山の手サッカースポーツ少年団。10番と6番の突破力を生かした攻撃でチャンスを作り、粘り強い守備で勝利を重ね、勝点34を獲得しての優勝でした。また、小柄な4年生2人がアグレッシブな突破で、6年生に負けない活躍を見せていました。今後の活躍にも注目したいところです。惜しくも準優勝となったAGGRE U-12Bは、突破とパスを使い分ける判断力が高いチームで、3位のリーグ最多得点を挙げた札幌西サッカースポーツ少年団と、3チームで最後まで優勝争いを繰り広げました。

8チームリーグだったので、最終節は順位別トーナメントと題し、上位4チームと下位4チームのトーナメント戦を行いました。上位トーナメントは札幌西が制し、下位トーナメントは厚別北が制しました。

6年生のみの出場ではなく、5年生以下が出場するフレッシュなゲームも多数ありましたが、上級生に負けずに粘り強くボールを追いかける姿が見られました。

リーグ戦は、コロナウィルス対応の中、例年のような大声援はありませんでしたが、選手たちが互いに励まし合い、随所に素晴らしいプレーを見せてくれました。大雨の中、泥まみれになりながら必死に勝利を目指し、プレーする姿もありました。ピッチの外でも、保護者のサポートを受けることなく、自分のことを自分で取り組む素晴らしい選手の姿がたくさん見られました。また、各チームのご尽力で会場使用や駐車台数等でのトラブルもなく、円滑にリーグ戦を運営することができました。



